

京都第一赤十字病院で超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検における 肉眼的迅速評価の有用性に関する後ろ向き観察研究

京都第一赤十字病院呼吸器内科では、気管支鏡検査に関する研究「**超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検における肉眼的迅速評価の有用性に関する後ろ向き観察研究**」を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で縦隔・肺門リンパ節病変に対する超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

実施にあたり京都第一赤十字病院倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

縦隔・肺門リンパ節病変に対し、超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検を実施する際に、限られた時間内で適切な検体を採取するためには、検査中に追加生検の可否や穿刺回数の配分を判断する必要があります。肉眼的迅速評価は、針生検検体の中の透明～白色調で光沢を有する組織成分の有無で、適格な検体かどうかを肉眼的に評価する方法ですが、気管支鏡検査での有用性がまだ十分に検討されていません。本研究は、超音波気管支鏡ガイド下吸引針生検における肉眼的迅速評価所見と診断率との関連を評価することを目的とします。

研究の方法

・対象となる方について

2023（令和5）年4月1日から2025（令和7）年12月31日までの間に、京都第一赤十字病院呼吸器内科で縦隔・肺門リンパ節病変に対して超音波気管支鏡ガイド下吸引針を受けられた患者様が対象となります。

研究期間： 倫理審査委員会承認後から2027（令和9）年3月31日

・方法

京都第一赤十字病院呼吸器内科で縦隔・肺門リンパ節病変に対して超音波気管支鏡ガイド下吸引針を受けられた患者様が対象となります。本研究は過去の記録を用いる研究ですので、参加者となる皆様に新たな検査負担や危険が及ぶことはありません。記録から得られたさまざまな所見と診療経過を解析します。

・研究に用いる資料・情報について

情報：病歴、検査歴、検査所見、合併症等の治療経過等

・利用又は提供を開始する予定日

利用開始日：倫理審査委員会承認日

・個人情報の取扱について

手術時に情報はすべて匿名化され、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように情報を加工されるため、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

・研究組織

研究責任者： 京都第一赤十字病院 医長 今林 達哉

研究担当者： 京都第一赤十字病院 呼吸器内科部 部長 徳田 深作

お問い合わせ先

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027（令和9）年3月31日までに下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

京都第一赤十字病院呼吸器内科

職・氏名 医長・今林達哉 電話：0 7 5-5 6 1-1 1 2 1 （代表）

E-mail: tatsuya-imabayashi@kyoto1.jrc.or.jp

受付時間 月曜～金曜 9：00～16：00 （土日・祝日を除く）